

# エスペラント ★

Verda Placo 2013 somero

みどりのひろば 2013年 夏

N-ro 22

Harima Esperanto-Societo (はりまエスペラント会)



菖蒲 (akoro) 山崎花菖蒲園にて

## 関西（和歌山）エスペラント大会に参加して

### 馬場祝栄

私は神戸、大阪で開催された関西エスペラント大会に過去3回参加して参りました。精々一つか二つのプログラムの参加にとどまり、1日のみの参加でした。

この度の和歌山大会では2日間参加し、初めて開会式から閉会式まで、どっぷりとエスペラントの世界に入り込むと同時にエスペランティストの群れに混じり、恰好良く言うならば醍醐味を味わってきました。しかし私のエスペラント力ではとてもついて行けず、チンプンカンプンで、もっともっと勉強しなければと感じると共に来年開催する姫路大会は大丈夫だろうかと不安な気持ちを抱いて帰ってきました。



#### ●大会一日目

開会式前のプログラムで、なんとなく面白そうと感じた「アジアと連携した運動」の部屋に入ったのが間違いでした。

なんと上級者ばかりの集まりで、エスペラントのみでの説明並びに質疑応答更に真剣且つ活発な意見交換が成されました。私は部屋を出るに出られず、時間の経つのを待つみの状況となりました。

開会式もまたエスペラントのみの司会、上級者の方々の力に圧倒されるばかり、途中で日本語による挨拶が有った時には正直ほっとしました。E E U会員三好悦郎氏の講演には氏の情熱、意気込み、パワーに圧倒されるばかりでした。

**Bankedo** へのハリマからの参加者は私一人で寂しくはあったものの直ぐに周りの人達と打ち解け、出会いを楽しむことが出来ました。私の前の席には **Eiko** さん。作文教室に毎回応募されてるとかで話が弾みました。一テーブルに10人の構成。私のテーブルは私を除いてすべて大阪からの参加者でした。殆ど日本語での会話、こんな時こそ「エスペラントで会話ができたら、楽しみたい」と願った次第です。来年の姫路大会への参加を願いますと「参加しますよ、楽しみにしています」と嬉しい返事を頂戴しました。

## ●大会二日目

「新エス歌を歌おう」に参加しました。

初音ミクの映像によるカラオケで、映像を見ながら皆で歌うので良く分かり、楽しいものとなりました。

① **Jupitero** ② **ABCの歌** ③ **鎮魂の歌** の3曲で、どれも良く知っている曲ばかり、歌いやすく、お蔭で「鎮魂の歌」を覚えることが出来ました。「鎮魂の歌」では、画面のEと被災地の映像を見ながら歌っていると涙がこみ上げてきて、自分でもびっくりしました。「ABCの歌」は簡単です。姫路の例会でみんなと練習したいと思いました。講師の方に「花は咲く」もEに訳したのを歌いたいと、お願いしましたが、著作権の問題が有り、難しいとのことでした。昼からのE講演は「韓国側から見た、<沙也可>」そして日本語講演は「400年の時を超えて今<沙也可>が甦る」でした。400年も前にこの戦いには大義が無いと言った人<沙也可>。初めて聞く話でした。和歌山市がこの話を広げようとする姿勢に拍手を送ります。

今世界のどこかで自分達にとって都合の良い言い分を並べ立て、テロ、爆撃が起こっています。「これらの戦いには大義が無い、やめるべきだ」と早く世界中の人々が気づいて欲しいと願わずにはいられません。

堅苦しい話しが、続き、疲れ気味状態の中で、舞台に「トラス少年少女合唱団」の子ども達が現れてほっとしました。子ども達の合唱で会場が和やかになりエス語で歌ってくれた「赤とんぼ」に感動を覚えました。

子供の力は素晴らしい。姫路でもこれは取り上げたいもので、何か方法はないか考えなければと思っています。さて、来年62回関西エスペラント大会はいよいよ姫路開催です。和歌山大会を通じて感じたことの一つは、運営を成功させるには沢山の人員が必要だと言うことです。特に会場イーグレ



姫路は一般の客が多い所です。案内係だけでも何名かの手が必要で。今例会で活動されているメンバーだけでは到底不足です。はりまエスペラント会会員全員共同の取り組みが必要です。忙しい人は当日だけでも応援していただきたいと願っています。よろしくお願い致します。

第 62 回関西エスペラント大会 2014.5.31-6.1

来年は姫路へ！ Al Himezi!

今年の関西大会は、世界文化遺産のある姫路市で開催します。

新しい仲間大歓迎です！

はりまエスペラント会一同、皆さんの参加をお待ちしています。

La venonta kongreso okazos en la urbo Himezi/Himeji.

Harima Esperanto-Societo bonvenigos vin al la urbo de monda kulturheredaĵo.

Post unu jaro ni revidu nin ĉiujn kun novaj samideanoj!

Ni ekscie atendas vian aligon.



(しるまをのり)

## 関西エスペラント大会に参加して

稲田正昭

エスペラント大会に参加するのはこれで

二度目、と言っても一度目は私が若い時でした。諸先輩や姫路工大生が中心となって姫路で関西大会が開かれた時でした。私はスタッフの一人として何らかの仕事をしたのかどうかさえも覚えていません。そんな私が今回、和歌山大会に参加する気持になったのは、来年、姫路で開催すると決まったからです。大会はどんな運営をされるのだろう、雰囲気は、等々を知るため参加した次第です。でもごめんなさい、一日目の大会前遠足や Gaja Vespero, Bankedo には参加しませんでした。

さて感想ですが、わああ大変だなあ～姫路ですとなると少々しんどいかなあ～と思いました。来年の姫路での大会も、関西連盟の主導で計画・準備・運営されるのでしようけれど、私達はりまエス会もまた、これから種々の準備や当日の運営について詳細に検討し、スケジュールを立てて会員が個々責任をもって実施してゆかねばならないと思います。

今まで、どんな大会にも参加せず、勿論協力もして来なかった私が発言するのは失礼かもしれませんが、また、的外れかもしれませんが、以下に感じた事を述べます。全体の雰囲気はお祭りの雰囲気ではなく、静かに計画通り進行してゆくような感じです。そして、やあ！しばらくぶりに会えたなあ～、お元気ですか、という風な親しみを感じました。それはそれでよいのですが、内内にこもっている感じです。もう少し、オープンで賑やかで、エスペランティスト以外の人々も参加していただくような部分もあったらなあ～と思いました。折角多くのエスペランティストが集まるのですから、大会の様子をマスコミに見せて宣伝するのもよいのでは、とも思いました。しかしそれは、マスコミに対して大会がニュースバリューのあるものを提供できるかどうかにかかっていますが。 以上

## 第 16 回関西大会の記憶

峰 芳隆

前回姫路で開催した第 16 回大会は、45 年前の 1968 年 5 月 11 日（土）と 12 日（日）。11 日は手柄山にあったユースホステル「青年の家」（今は存在しない）で、宿泊を兼ねた前夜祭。12 日、大会当日の会場は、伊出居にあった姫路工大（現在の兵庫県立大学工学部）。当時、工大にはエスペラント研究会があり、現在も会員の藤井富朗さんがメンバーで、その世話で教室を借りました。

その時も、前年の大会が和歌山で、下見を兼ねて、数人で和歌山へ出かけたことを覚えています。また、この大会にも、大本はりまの皆さんに支援していただきました。

大会参加者は 106 人（うち、外国人は 2 人）。当時は、大会資料も簡単なもので、記念品もなく、最近の大会と比較すれば簡素ですが、学生たちの参加も多く、活気があり、それなりに充実していた、とおぼろげな記憶の中から思い出しています。

### 姫路大会準備会の報告

関西大会プレ準備会（4 月 18 日、イーグレひめじセミナー室）

和歌山大会を前にして、プレ準備会を開催し、次のことなどを相談しました。

- ① 予約した会議室に不足はないか。→ 追加が必要。先行予約の追加を申請し、申請どおりに確保。
- ② 大会記念品として、タニヒロユキ「簡明日本語エスペラント辞典」を決定（これは、KLEG 理事会で決定し、タニさんに執筆を依頼）。
- ③ 和歌山大会に参加して、大会内容とその運営を体験することなどを申し合わせ。

（出席）多田、塚本、馬場、久保田、大前、中村、山岸、峰（芳、多）。

吉田（元会員。その後、6 月に再入会）。

中道、磯貝（以上は、神戸）-----

和歌山大会（5 月 25 日、26 日）

はりまからの出席者：多田、塚本、馬場、稲田。

（ほかに、中村、中川と峰が不在参加：不在参加者には、大会記念品と資料等の配布あり）

Kongresa Gvidilo に、姫路大会の案内を掲載依頼。

閉会式の最後に、参加4人全員が壇上へのぼり、和歌山から大会旗（KLEGの緑星旗）の引継ぎを受け、塚本があいさつ（敬称略）。

第1回実行委員会（7月4日、イーグレひめじセミナー室）

これまでの経緯と準備状況、会場の予約状況を報告。

**続いて、和歌山大会の参加者から報告と課題提起があり。**

次に和歌山大会参加者から次のような感想が述べられた。

- ・少年少女合唱団が良かった。姫路でも同様のものがないか？
- ・会場への案内、会場内の案内がわかり難かった。姫路では分かりやすくしたい。

用意した資料で、役員と仕事の分担を相談し、次のことを決定。

- ①役員：大会会長：稲田，委員長：峰，事務局：多田，会計：塚本。
- ②テーマとシンボルマークを8月末期限で募集する（担当：多田）。
- ③海外からの招待は、KLEG国際部に依頼するが、はりま独自でも姉妹都市（とくにアデレード）に呼びかける（峰）。
- ④公開講座は、「柳田国男とエスペラント」をテーマに講師を探す。また、在日外国人の参加確保にも努める（峰）。
- ⑤姫路市等への後援依頼を申請する（稲田）。
- ⑥会場案内を工夫する。また、実行委員の目印になるTシャツの制作なども検討する。
- ⑦Bankedoの会場を検討する。
- ⑧今後のスケジュール：9月12日，11月14日

終了後、主会場の「あいめっせホール」を下見。（写真右）

（出席）多田，塚本，馬場，稲田，久保田，大前，吉田，中村，中川，三鍋，山岸，藤井，峰。

木元（KLEG組織部長），磯貝（神戸，KLEG国際部長）。



## Vojaĝo al Nihonmatu urbo

Baba Tokie

En tiu ĉi printempo mi iris al Tukuba. Tie loĝas la familio de mia infano. Mi vojaĝis al Nihonmatu urbo per juneca 18 bileto.

Mi amas poemaron de Tkamura Koutarou. Speciale mi ŝatas poemon "Tieko syo" en ĝi. Kiam mi estis junulo, mi parkerigis la poemaron. Ankoraŭ nun mi memoras kelkajn poemojn. unu el ili estas naiva parolo pri ĉielo.

"Ne ekzistas ĉielo super Tokio,"

Tieko diris."la ĉiutaga blua ĉielo super la monto Atatara estas la vera ĉielo."

[vera ĉielo estas ĉiutage aperi ĉielo super la monto Atatara]

[智恵子は東京に空が無いといふ、

阿多多羅山の山の上に

毎日出てゐる青い空が

智恵子のほんとの空だといふ。]

Mi estis maltrankvila pri la monto

Adatara kaj la urbo post lakatastrofo pro la granda tertremo.

Mi envagoniĝis ĉe la Tukuba stacio de JR.Kajmi transvagoniĝis ĉe Mito,Kouriyama. Kaj mi venis al Nihonmatu.

Tie mi vidis multajn junulojn, kiuj volis iri al la damaĝita loko por helpo. Du busoj atendis ilin. Mia koro estas ĝoja.

Mi depruntis biciklon de la stacio. Kaj mi ĝuis en Nihonmatu urbo dum 2horoj. Ĝis nun mi ne sciis ke Tieko estas tre kara por la urbanoj de Nihonmatu. Tial mi estis tre ĝoja.Bedaŭrinde, Takamura Tieko kinenkan estis ferma en tiu tago.

La supro de la monto Adatara estis kovrita per neĝo. Kompreneble la ĉielo estis tre blua kaj bela. Mi ne forgesos la malproksiman monton Adatara super aleaj sakuroj.



## 海外エスペ란チストを姫路に迎えて交流会

大前知子

此の度、亀岡にて大本エスペラント普及会（EPA）創設90周年記念行事に参加しました。海外からも36名が参加され盛りだくさんのプログラムでエスペラント語が頭の上を駆け巡っていました。そして参加者の中の2名の男性エスペ란チスト（ハンガリー人、イラン人）が姫路に来られる事となり、おおもとはりま本苑でミニ交流会が開かれました。手作りの食事等を頂きながらまず自己紹介から（もちろんエスペラント語で）その後、日本語、エスペラント語、交えている話に花が咲きとても賑やかな楽しいひと時でした。特にトーマス氏（ハンガリー人）は日本語が話せる方でしたので私達参加者も楽な気持ちで接する事ができて良かったと思います。でも改めて勉強不足を痛感！記念撮影の後、姫路城見学、改修中ですが海外のお二人にとっては大変興味深いのか、パチパチと写真撮影、そして、色々と質問しておられました。自分の国の次に日本（姫路）が好きになったと言って下さり嬉しかったです。短い時間でしたが国も言葉も生活習慣も違う人間がエスペラントでつながる深い絆を感じました。

2013年6月4日 記

参加者17名  
HALASZ Tomas (Hungario)  
SAED Abbasi (Irano)、  
はりまエス会から  
久保田、吉田、中川、  
馬場、山岸、三鍋、中橋  
大前の7名参加。





## Kian deziron vi petas ĉe Stela Festo ?

KUBOTA Tomomi

En iu tago de la somero mi piediris al ĉirkaŭa poŝtkesto kun kartoj por somera saluto. En mia vilaĝo la poŝtkesto staras apud pordo de la komunuma domo. Tie mi trovis la dekoraciojn de la stela festo. Do mi rimarkis ke oni okazigis stelan feston antaŭ kelktagoj en ĉi tiu domo.

La bambuaj dekoracioj estis ligita kun la pordkolono per ambaŭ flankoj balanciĝantaj. Folioj de la bambuoj jam ekforvelkis, tamen diversaj ornamaĵoj, tio estas paperĉenoj, poempaperoj, paperpupoj aliaj, skuiĝadis en venteto.

Sur la poempaperoj priskribitiĝis ĉiu respektivaj deziroj. Mi prenis ilin kaj legis. "Pli altekresku", "Pli rapide kuri kapablu", "Resaniĝu el la atopio, mi petas", "Povu iri al la plezurĝardeno Disney". Ĉiuj deziroj de geknaboj estis konkretaj kaj konsentigis min. Kaj deziroj de plenaĝuloj estis ne tute, por ekzemplo, "Preĝas pri la sekureco en mia familio". Mi legis tiujn poempaperojn interese. Kaj mi demandis min, "pri kiu deziro mi skribos?"

Kaj vi ?

## La Kastelo Himeji (himeĵi)



La kastelo de Himeji estis konstruita antaŭ 400 jaroj kaj oni plej bone konservas la originan formon. Pro tio UNESKO nomis ĝin monda kultura heredaĵo.

Ĝi travivis diversajn epokojn, sed preskaŭ ne ricevis difektojn, ĉar ne okazis bataloj en la kastelo. Ankaŭ la aeratakoj de la usona armeo fine de la dua mondmilito, ne donis damaĝojn al la kastelo, dum la urbo estis forbruligita.

En la centro staras la plej alta ĉefa turo, najbare staras du malgradaj turoj, fosaĵoj kaj altaj fortikaj ŝtonmuroj ĉirkaŭas la kastelon, blankaj muroj kaj multaj pordegoj zigzage baras vojetojn. Estas multaj akvoputoj kaj deponejoj de rizo, salo kaj aliaj. Ĉiuj tiuj estas rimedoj por defendi, sed samtempe la tuto formas belan figuron. Ankaŭ interne de la domo oni vidas

diversajn rimedojn por defendado, sed ĉio estas tre simpla sen pompaj ornamaĵoj.

La ĉefa turo altas 65-metrojn kaj estas kvin-etaĝa laŭaspekte, sed interne ĝi havas sep etaĝojn.



La tuta konstruaĵo estas tenata de nur du longaj lignaj kolonoj de la bazo ĝis la plej supra etaĝo.

Antaŭ ĉirkaŭ 50 jaroj oni komplete malkonstruis la ĉefan turon por ripari ĝin, kaj rekonstruis uzante kiel eble plej multe el la malnovaj, uzitaj materialoj.

La kastelo, kiel aliaj japanaj domoj, estis konstruita per ligno, bambuo kaj koto. Ĝia strukturo estas farita el ligna skeleto. Planko kaj plafono ĉiuj estas ankaŭ el lignoj. La muro estis farita per koto metita sur reto el bambuoj kaj ŝmirita per stuko el kalko, kaj tial aspektas pure blanka. Pro la blanka aspekto kaj la eleganta figuro oni alinomas ĝin "kastelo de blanka egret-ardeo" laŭ tre populara birdo en Japanio. Multe da blankaj egret-ardeoj vivas ankaŭ ĉirkaŭ la kastelo.

En la kastelo sinsekve loĝis feŭdaj mastroj, kiuj regis la regionon de Himeji, ĝis la kontraŭfeŭdisma revolucio antaŭ 150 jaroj, kaj poste neniu loĝis en ĝi. En la plej prospera tempo loĝis pli ol 2000 vasaloj aŭ *samurajoj* en la kastelo, kaj komercistoj, metiistoj kaj aliaj loĝantoj formis la urbon ĉirkaŭ ĝi. La urbo siatempe prosperis kiel centro de komerco kaj trafiko en la regiono. Nun la urbo Himeji havas 540,000 loĝantojn.

Nu, vi povas supreniri ĝis la plej supra etaĝo de la ĉefa turo per ŝtuparoj, sed devas demeti viajn ŝuojn ĉe la enirejo, kiel en japana ordinara domo.

Harima Esperanto-Societo, 2007-08-01

第 18 回ひめじ国際交流フェスティバル開催

平成 25 年 10 月 27 日

午前 10 時から午後 3 時まで

姫路 大手前公園にて



## 募 集 中

大会テーマとシンボルマークを募集

8月末までに、多田までお願いします。

住所、メール等は Verda Placo の末尾参照

次回の大会準備会は

9月12日(木)午後2時—5時イーグレ4F 第2会議室

11月14日(木)午後2時—5時 同 セミナールームD



### 新入会 nove aliĝis

**中原章さん**：6月に入会された。中原さんは、元高校の先生で、5月はじめに、ネット上で、はりまエスペラント会の存在を知り、峰の自宅に来られて、その紹介で、沼津エスペラント会の通信講座を受講。高砂市伊保崎にお住まいで、時々来訪されて、発音と簡単な会話を学習。通信講座(初級)を修了後、例会への参加を希望されています。Bonvenon s-ro Nakahara!

### 再入会 realiĝis

**吉田信子さん**：1965年姫路エスペラント会発足時の会員で、2007年に再入会され、2011年に退会されたが、来年の関西大会の姫路開催に向けて、再び入会された。Bonvenon s-ino Joŝida!

### 退会 eksiĝis

**坂本敏明さん**：病気で例会出席が困難になったため退会された。坂本さんは、姫路エスペラント会の講習会で学習。その後、高砂市で講習会を指導して、1970年高砂エスペラント会を作り、72年には姫路と合同のザメンホフ祭を高砂で開催された。2006年に再入会され、加古川の例会の常連であった。Bonan fartadon al s-ro Sakamoto.

**学習例会の記録**

Kie, kiam, kiuj kune lernis?

**<姫路：国際交流センター>**

4月25日：大前，中川，中村，山岸，三鍋，馬場

5月23日：峰，大前，中村，中川，馬場，山岸，中橋

6月27日：峰，中村，久保田，大前，山岸，三鍋，馬場

学習例会は午後1時30分～4時。

テキストはエクスプレス エスペラント語。

**<加古川：加古川総合文化センター>**

4月21日：多田，南場，馬場，峰

5月19日：多田，塚本，馬場，峰

6月16日：久保田，塚本，馬場，松田

テキストは“Vojaĝo kun Katrina” 終了しました。

**今後の例会予定**

Kie, kiam ni kunvenos?

★姫路（午後2時～4時，姫路国際交流センター）

7月25日（第4木曜日） 第4会議室 10月24日 第4会議室

8月22日（第4木曜日） 第4会議室 11月28日 第4会議室

9月26日（第4木曜日） 第4会議室

★加古川（午後2時～4時，加古川総合文化センター）

7月28日（第4日曜日） 会議室3

8月18日（第3日曜日） 会議室3

9月15日（第3日曜日） 会議室未定

"Katrina malfruas", シリーズ第3話を読み始める予定です。

**編集後記**

今回の Verda Placo n-ro22 より編集を S-ro 南場から引継ぎました。

第62回関西エスペラント大会の姫路開催も1年を切りました。

重要で大事な1年になりそうです。皆様のお力をお借りしながら、編集にがんばろうと

思います。どうぞ、皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしく願います。

今回は10月20日発行予定です。原稿をお待ちしています。

★★

“Verda Placo” (みどりのひろば) n-ro 22 2013年7月20日

発行：はりまエスペラント会 代表 峰 芳隆 高砂市北浜北脇 29-16

編集：多田龍二 明石市西明石町5-6-2 t-ryuji@sky.plala.or.jp